

民主青年新聞

●ホームページ www.dylj.or.jp ●Eメール minsin@dylj.or.jp

見どころ

相次ぐ値上げ 政治の責任で暮らしと営業守れ (3面)
私も反対の意思表示したい ロシアのウクライナ侵略に声上げる高校生 (6、7面)
生涯賃金で1億円、の男女格差—男女の賃金格差の是正を (10、11面)

くり返す覇権主義 ロシア孤立鮮明



▲ウクライナとその周辺地域の地図。AFP通信の図解(2月19日作成、©JOCHEN GEBAUER, STAFF/AFP)を基に作成



▲ジョージア(グルジア)周辺の地図。時事ドットコムニュース(3月31日付)を基に作成

ロシアによるウクライナ侵略から2カ月がたとうとしています。ロシアは今回のウクライナ侵略に限らず、歴史的に他国への軍事干渉や主権侵犯をくり返してきました。近年の侵略行為におけるロシアの大国主義・覇権主義の歴史をたどります。(今井千尋記者)

近年のロシア側と国連側の動き

一連のロシアによる覇権主義的な領土拡張を多数の国々は認めていない

- 2008年
 - 8月8日 グルジアの一部地域をめぐるグルジアとロシアが武力衝突
 - 26日 ロシアがグルジアの一部地域の「独立」を一時的に承認(国連加盟国はほとんど「独立」を認めていない)
- 2014年
 - 3月18日 ロシアがウクライナの領土クリミアを一方的に併合
 - 27日 国連総会でクリミア併合を非難し併合を無効とする決議を、賛成100カ国で採択
 - 4月7日 ウクライナ東部2州で親ロシア勢力が一方的に「独立」を宣言
- 2015年
 - 2月12日 停戦協定「ミンスク合意」
- 2022年
 - 2月21日 プーチン大統領がウクライナ東部2州の「独立共和国」を承認
 - 24日 ロシアがウクライナ侵略開始
 - 25日 安保理によるウクライナ侵略を強く非難し即時撤退を求める決議に対してロシアが拒否権を行使し否決
 - 27日 安保理が緊急特別総会の開催を要請する決議
 - 3月2日 国連総会でロシア軍のウクライナからの即時無条件撤退を求める決議が、141カ国の圧倒的賛成多数で採択
 - 4日 ロシア軍がウクライナにある欧州最大の原発を攻撃し火災が発生
 - 16日 国際司法裁判所がロシアにただちに軍事作戦をやめるよう命じる
 - 24日 民間人の保護など人道状況の改善に向けた決議の採決を行い、賛成多数で採択
 - 4月7日 国連人権理事会におけるロシアの理事国としての資格を停止する決議案を採択
 - 13日 国際刑事裁判所 (ICC) 検察官がウクライナ首都近郊のブチャでロシアの戦争犯罪に関する調査開始

原則に反する行動を重ねるロシア

1991年12月のソ連崩壊以降、ロシアは旧ソ連を構成した諸国に対して、主権と独立、領土保全の原則を尊重することを誓約してきました。ソ連崩壊後、旧ソ連を構成した諸国によって「独立国家共同体」(CIS)が正式に発足され、採択された「アルマアタ宣言」(91年)、ウクライナの「バタペスト覚書」(94年)、ウクライナの独立、主権、現国境の尊重、内政不干渉を明記したロシア黒海艦隊のクリミア駐留に関する協定(97年)です。

グルジア軍事侵襲

08年8月8日、グルジア領南オセチア自治州をめぐるロシアとグルジアが武力衝突を開始し、ソ連崩壊後初めてロシアが他国の領土に軍事侵襲した事件となりました。ロシアはグルジア領土である南オセチア自治州とアブハジア自治州を「独立」を一方的に承認。ロシアはグルジアによる南オセチアへの武力行使を理由に挙げました。

ロシアとクリミアは「一体」

クリミア併合

2014年3月18日、プーチン大統領はウクライナのクリミア自治共和国とセバストポリ特別市をロシアに編入する方針を明らかにしました。プーチン大統領は「独立」宣言したこと(11日)、両市でのロシア

当時、ロシアの大統領であったメドベージェフ氏は、「他の国々の場合と同様に、ロシアが特権的な利益を有する地域がある」と語りました。「特権的利益」とは、旧ソ連諸国を指し、ロシア系住民が多数を占める地域を指し、ロシアの企業、ソ連からの引き継いだロシアの軍事基地も少なくない地域を意味します。ソ連崩壊後のロシアの一貫した方針として「特権的利益地域」の維持があり、プーチン大統領は「クリミア併合演説」(18日)の中で、クリミアが軍事的な観点から重要な拠点であることを強調すると同時に、「歴史的なロシアが統一を回復しようとしている」と述べました。

同年4月にはウクライナ東部のドネツク、ルガンスクで親ロシア派勢力が「独立」を宣言。ロシアが軍事介入し、親ロシア派勢力とウクライナ政府との間の戦いが激化。15年に停戦合意が成立。15年に停戦合意が成立。15年に停戦合意が成立。

しかし、2008年のグルジア(現ジョージア)への軍事侵襲以降、こうした国際的誓約を投げ捨てました。

2014年3月18日、プーチン大統領はウクライナのクリミア自治共和国とセバストポリ特別市をロシアに編入する方針を明らかにしました。プーチン大統領は「独立」宣言したこと(11日)、両市でのロシア

(2面につづく)